

大腸内視鏡検査において、診断学、治療学の進歩は目覚ましいものがあるが、それらはすべて大腸挿入法の基に成り立つものである。挿入法も、2人法から1人法へ、軸保持短縮法を基本とした無痛での挿入法の確立等、技術の向上がなされてきたが、基本は挿入技術の伝達であり、その伝承の難しさや、挿入困難例の挿入法に関しては未だ議論の余地が残る。一方、医療機器に関しても、自動挿入内視鏡の開発は長年行われているが、まだ実用に至る製品はない。また細径スコープや Responsive Insertion Technology 等の機器も開発はされたが、未だ革新的な変化はなく従来内視鏡のマイナーチェンジに留まっている。

近年日本においては大腸癌が増加傾向にあり、大腸内視鏡検査数を増やすことおよび大腸内視鏡に精通した医師を育成することは急務である。そのためには、革命的な技術開発を待つばかりではなく、現状の内視鏡での挿入法を習得し、若い医師に伝承していくことが重要となってくる。そこで本号では「無痛大腸内視鏡挿入法—technique & device」をテーマとし、エキスパートの先生方に、軸保持短縮法の基本、鎮痙薬・鎮痛薬・鎮静薬の使用法、スコープの選択、Responsive Insertion Technology、フードの活かし方、挿入困難例の対処法、トレーニング方法に関して執筆いただいた。挿入の歴史から最近の話題、挿入の基本テクニックから応用編までかなり詳細に記載いただいております。挿入法をマスターするうえで欠かせない1冊になったと確信している。

先に述べたように挿入法は技術であり、知識を得ただけではすぐに上達はしない。ただ症例数を上積みするのではなく、1症例1症例を大切にしつつ、日々の努力、研鑽が必要である。あくまで第一の目標は患者の苦痛を減らすことであることを忘れてならない。本号は読みっぱなしでなく、壁にぶつかるごとに読み返していただき、日々の技術向上に役立てていただければ幸いです。

最後に、お忙しいなか執筆いただいた先生方に感謝申し上げます。

下田 良(佐賀大学医学部光学医療診療部)

池松 弘朗(国立がんセンター東病院消化管内視鏡科)

INTESTINE

Vol.24 No.2

©2020 年 6 月 20 日発行

定価(本体 3,200 円 + 税)

●年間予約購読は前金にて書店あるいは弊社宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、書店または弊社までお問い合わせ下さい。

・ Published by Nihon Medical Center, Inc.

© 2020, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・ JCOPY 〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上の例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(☎ 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

編集 『INTESTINE』編集委員会

発行人 増永 和也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-64(協和ビル)

営業直通電話 (03) 3291-3901 (代) FAX (03) 3291-3904

e-mail info@nmckk.co.jp

編集直通電話 (03) 3291-3971 (代) FAX (03) 3291-3377

e-mail intestine@nmckk.co.jp

印刷所 シナノ印刷株式会社

広告申込所/株式会社 文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1 電話 (03) 3814-8541